

万国正義院

1995年12月31日

世界のバハイへ
親愛なる友らよ、

躍動的な精神が流された世界センターでの六日間の大陸顧問会議に引き続き、この機会に、協議で話し合われた内容の決議をお知らせいたします。それは、1996年のレズワンから四年目の2000年のレズワンまで、拡大と強化のための地球規模の計画が実施されるということです。

この目的のために五つの大陸から集った七十八名の大陸顧問は全ての考えを一つにし、また、神の大業の翼成者アマトル・バハ・ルヒヤ・カヌーン、アリ・アクバル・フルタン氏、アリ・モハメッド・バルガー氏の同席を得て、万国正義院のメンバー、国際ティーチングセンターの大陸顧問らと共に協議しました。世界のバハイ共同体が直面する挑戦的課題とこれからの展望についての協議は、私たちの目前に迫る大変重要な数年間に共同体を成長させ発展させる強力な推進力が生まれる期待を抱かせる程の質と内容になりました。

計画の全体像はレズワンに発表されます。しかしながら、大陸顧問会議でもあったような討議を行っていただくために、今現時点で、ある程度の内容をお知らせしようと思えます。

四年計画は、一つの大きな目標を持っています。それは、隊をなす集団加入の過程を飛躍的に促進することです。これは、個人・機構・地方共同体の活動が大いに活発になり、発展することによって達成されます。この三つに焦点を絞れば、大きく拡大し、しっかりと和合し、活気にあふれ、親しみ深い国際共同体を二十世紀の終わりまでに確立することができます。このために必要な条件として、次のものが挙げられます。

第一は、一人ひとりの信者の信念を活性化させることです。これは、個人が自発的に継続的に人々に大業を伝えようとする事、また、共同体を補強し、機構の権威を支え、地方・地域の計画やティーチング・プロジェクトを支援するよう個人が誠実に努力すること、この二つにかかっています。

第二は、地方と国のバハイ機構が、自らの責任を正確に果たせるよう早急に成長することです。この機構の責任とは、導きの水路となり、ティーチング活動の立案者となり、人的資源の開発者となり、共同体の建設者となり、一般大衆のための愛情ある世話役となることです。

第三に、共同体の隆盛、特に地方レベルの共同体の隆盛が挙げられます。これは、行動の規範が大きく高められなければなりません。それにより、精神行政会のメンバーとその機能の長所が、共同体の和合や友情、活動や成長の活力として明確になります。

この目的のために、大陸顧問団の任務は新たな次元に入らなくてはなりません。そのために、大陸顧問会議の中で次のような事柄が決議されました。

○大陸顧問団の機能を発展させる。

○四年計画を立案する課程は、国・地域・地方段階の派生的計画と戦略を通して行う。大陸顧問と全国精神行政会の合同協議をレズワンの後すぐに始め、その後直ちに計画立案の課程は顧問補佐を含めた地方精神行政会や各委員会といった地方段階に移行する。

○急速に拡大する共同体に相応しい人的資源を開発する。大規模な拡大は、また、継続的な強化プログラムも必要とする。研修会や他の研修施設などで公式に実施される研修プログラムが緊急に必要である。このようなプログラムの確立や運営に、大陸顧問や顧問補佐がこれまで以上に緊密に関わっていく。

○地方精神行政会を設立して強化していくための効果的な手段を講じる。地方精神行政会を成熟させる目標に向かって、地方精神行政会を選挙する責任は、最終的にその地に住むバハイにあるという本質的な原則をしっかり守る努力が必要である。顧問補佐とアシスタントは、この原則を皆に理解してもらうために努力し、地方精神行政会の発展を手助けするためにさらに注意を払う。1997年のレズワンには、世界中の地方精神行政会がレズワン第一日目に選ばれなければならない。

○バハイ共同体のより良い発展の方法について。この課題に沿うものの一つとして、保護のための顧問補佐の人数を、宣布のための顧問補佐の人数と同じになるよう、増員することが挙げられる。それにより、保護のための顧問補佐は、共同体の基本的な活動全般において、直接的・組織的な手助けができるようになる。これには、一人ひとりの信者を精神的に育成し、共同体の活動のあらゆる場面に女性が参加するのを助け、十九日毎のフィーストと祝祭日を守り、子供クラスを開き、若者の活動を促進することが挙げられる。

前回の計画の中で挙げられた、本質的で相互に関連する方針を示した七つの目標は、予測できる近い将来でも同じように追求していかなくてはなりません。隊をなす集団加入の課程を加速させる四年計画の意向は、現在の信教の発展状況と人類社会の情勢を見たとき、不可欠なものであります。この観点から、新しい世界秩序の進展において、切り離せない三つのもの（個人・機構・共同体）は、大量の新たな信者を受け入れようとする姿勢と器量を一層大きくし、何千何万という精神的・行政的変革の効果を上げ、深い知識を持った献身的なバハイのティーチャーの軍隊を増殖させるように、自らの能力と意欲をこれまで以上に示さなければなりません。このようなバハイのティーチャーの軍隊の出現は、世界中に住む無数の人々の意識の中に深く刻み込

まれます。その他の事柄も上記の内容と共に大陸顧問は検討しました。大陸顧問は、自国に帰るとすぐに任務の一環として、友らと会議の結果を分かち合うための場を持つでしょう。

この新しい計画の始まりが素晴らしいものになるかどうかは、数カ月の内に終わる現在の計画の成果にかかっています。成果が上がるかどうかは、全ての計画の総指揮者である全国精神行政会の指示を、地方精神行政会や友らがどの程度実行するかにかかっているのです。時はまたたく間に過ぎ去ろうとしています。このことは、私たち全てを最大限の努力へと駆り立てます。ですから、近づきつつある夜明けの準備のために、三年計画を実りある結果に導くよう、私たちの全てのエネルギーを注ぐことをためらってはなりません。その結果がいかにか素晴らしいものであろうとも、このような結果を我々が切実に望む理由は、勝利者の自尊心によるものでは決してありません。そこには、神が定めた期限があり、私たちはその期限に間に合わせなければならないのです。私たちの任務は、共同体の規模を拡大し、その基礎を固めるだけではなく、特に、全ての人類の諸事に対して建設的な影響をさらに与えられるようになることなのです。世界で起きている出来事が極めて危機的性質を帯びてきている今、私たちは、三年計画の中で定められた目標に向かって時を得た行動をとるという義務を果たさないわけにはいきません。

大いに期待に心を膨らませながら、我々は、彼の大業を伝えよという天上の軍勢の主の呼びかけに立ち上がるよう、個人一人ひとりに対し、また、皆さん全体に対し訴えます。愛と、信念と、勇気を持って立ち上がれば、天国の扉は大きく開き、皆さんの努力に対して祝福が降り注ぎます。

愛あるバハイの挨拶と共に
万国正義院（署名）